

「の編集長を務める。趣味は巨木や斗南藩の研究、釣り、短歌、ウオーキングなど。趣味が記事になることなど。趣味が記事になることなど。趣味が記事になることなど。

趣味誌面に反映

の読者のみならず「福和報誌」を、元氣な高齢者の興味を引く「シニアの情報誌」へと内容を拡充。その結果、今では北東北で、金した斗南藩の人々への思いは熱く、「歴史を文字にすることで、功績を後世に残したい」。使命感と好奇心は尽きることなく、行動力はますます勢いを増している。(佐々木萌)

が、同市の八食開かれている。17日まる。催事ホールで。

同市のふれ愛アブラザあおば、彩り工房「いろどり」、第二のぞみ園、南部町の森の菜園が参加。木工品や手芸製品、野菜や果物など、ふれる作場者の開る。

第二の師坂本「どれもに作ったに取ってと来場を個性豊かな会場



入場無料。時間は午前9時〜午後6時。(田沢奈々)

ポストにはがきを入れる園児



南部町立福田小学校日曜参観日「教育講演会」 ～親子で考えよう 家庭での学習の進め方～

開催日:2013年9月8日 会場:南部町立福田小学校
掲載日:2013年9月15日/デ-リ東北新聞

への感謝に込めて戸カトリック幼稚園児が投函「敬老の日」五戸町の五戸ギョーザの華楼(青葉一)

間の触れ合いを大切にしておくと、毎年敬老の日に合わせて、年長の園児が自分たちの祖父母に手書きのはがきを出している。子どもたちは「おもちゃを買ってくれてありがとう」「また遊びに行くからね」など思い思いのメッセージと絵を描いたはがきを手紙に近くの五戸郵便局を訪れ、一人一人ポストに投函(とうかん)した。

まつりの舞台を清掃 三戸町立三戸中学校 役買った。(丸岡博校長)と青森県 まつりへの感謝を込め立三戸高校(菅原由美子校長)の生徒が9日、さのこみ拾いは、今年で2んのへ秋まつりの舞台と年目。三戸中は部活動単位で100人、三戸高は有志30人が参加した。午前7時から町役場を基点に八日町、二日町などへ繰り出し、たばこの吸い殻やビニール袋を丁寧に拾い

NEWS ファイル

学習の大切さを再認識 南部町立福田小学校 塾(三浦勉校長)で8日、家庭学習をテーマにした講演会が開かれ、児童と保護者約300人が学習の大切さを再認識した。八戸市の学習塾「志学塾」の畑山篤塾長(全)が講師を務めた。畑山さんは「宇宙」などの単語を例に、実際に行ったことがない場所でも言葉を使いただけで、頭の中でイメージできることの素晴らしさを強調。「言葉を使えば知っている人の方が豊か。勉強は言葉の数を増やすこと」と学習の楽しさを紹介した。



同窓生ら親睦深める 青森県立八戸高校同窓会 25人が親睦を深めた。階上支部は有志が昨年7月に結成し、同9月の八戸高同窓会会員大会で正式に認められた。



総会では、町立赤保内小学校の田村雅樹校長(24回生)による講演や、出席した在校生の激励も実施。懇親会では思い出話に花を咲かせ、実り多いひとときを過ごした。

入場無料。時間は午前10時〜午後6時。(井上周平)

同幼稚園では、世代(鴨沢宏平)